

第5章 計画の推進

ともだち



市内の6歳児の作品です。

【第5章の内容】

- 1 地域全体による計画の推進..... 87
 - (1) 計画の推進に求められるもの..... 87
 - (2) 求められる新たな取組..... 87
- 2 計画の進捗状況の把握と評価..... 89
- 3 財政基盤の確立..... 89

1 地域全体による計画の推進

(1) 計画の推進に求められるもの

本計画を推進し、子どもを安心して生み育て、次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つための環境づくりを実現するためには、子育てをそれぞれの家庭や行政だけでなく、地域全体の課題としてとらえることが必要となります。

このことから、本計画の推進にあたっては、行政はもとより、団体や個人を問わず、地域におけるさまざまな構成員がそれぞれの特性を活かしながら主体的・積極的に役割を果たし、連携を図りながら地域全体で計画の実現に向けた取組を行うことが求められます。

(2) 求められる新たな取組

本計画においては、地域全体で支える子育て支援の新たな取組の1つとして、(仮称)子育て総合支援センターと地域子育てサロンの整備を予定しています。

この新たなセンターとサロンは、施設の整備だけを目的とするものではなく、センターを中心として、保育所などの子育て支援施設や団体・個人の子育て支援者、また、各種の子育て支援サービスや子育てに関する情報など、子育て支援に必要なさまざまな要素が連携し、双方向のつながりを強化することで、きめ細やかな子育てを地域全体で支え合う環境や仕組みづくりをめざす1つの基盤として整備するものです。

(仮称)子育て総合支援センター

保育所、学童クラブ、児童館、地域子育て支援センターなどのさまざまな機能を複合的に持ち合わせ、広域的に千歳市全体の子育て支援を支える中心的な施設をめざします。

保育士、保健師などの子育てに関係する専門職員が、妊娠から子育てに関するさまざまな相談や情報の提供を行うとともに、子育てに関係する機関などとの連絡や調整を行います。

また、市民などの参加を得て、地域子育てサロンをはじめとする各種の子育て支援サービスの支援者の育成なども図ります。

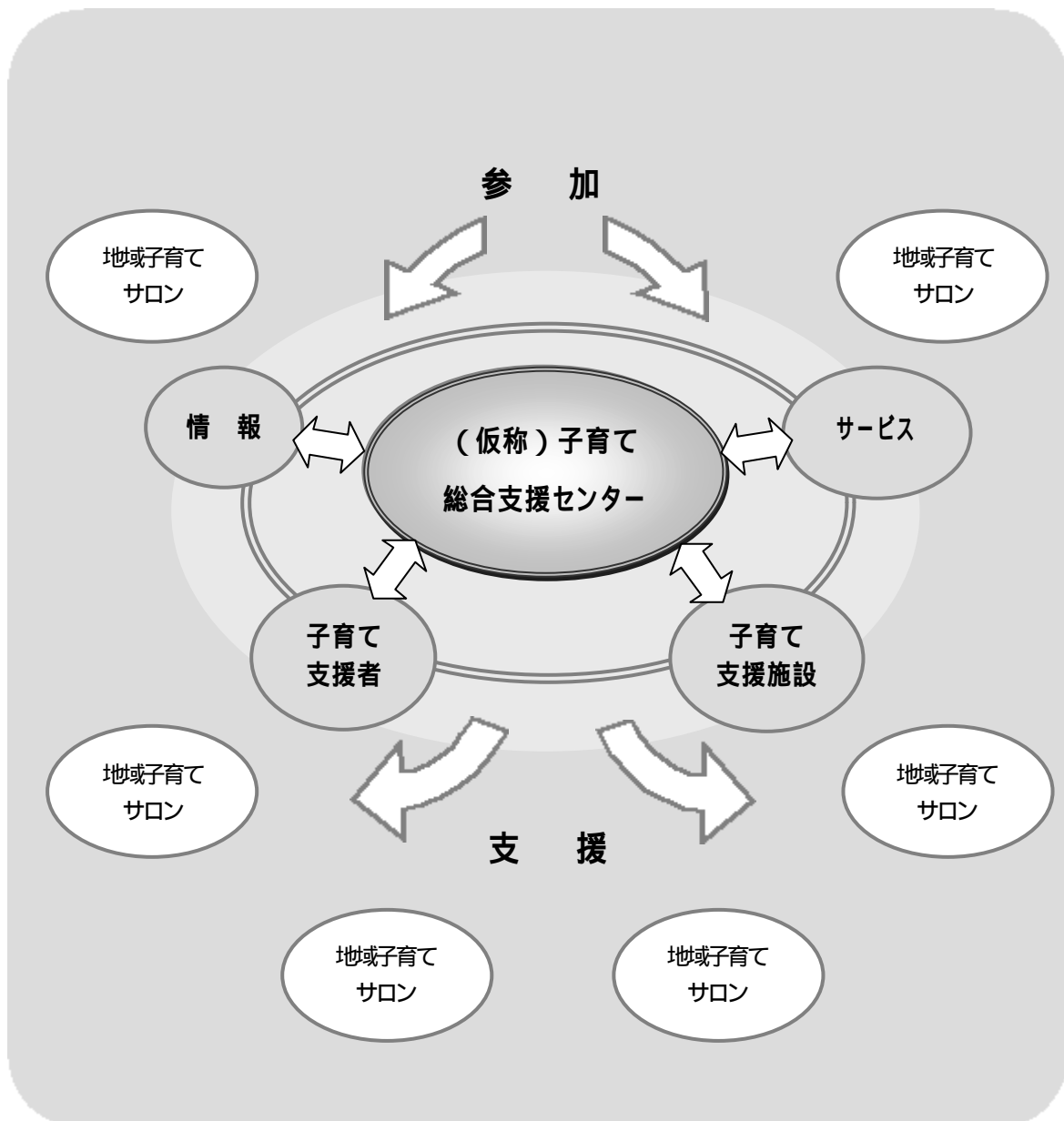
さらに、保育所、学童クラブ、児童館、地域子育て支援センターなど、各種の子育て支援施設間の調整やサポートを行うとともに、各種の子育て支援サービス情報を一元的に管理し、利用者に提供するなど、千歳市の子育てにおけるコーディネーター的な役割を担い、地域全体で連携の取れた子育て支援を推進します。

地域子育てサロン

子育て中の親子が歩いて行ける町内会館などの身近な場所において、主任児童委員をはじめ、民生委員児童委員などを中心とし、市民が活動の主体となった地域における常設の子育て交流の場をめざします。

サロンは、地域の親子の交流や情報交換の場となるとともに、子どもが安心して過ごせる居場所や、世代間交流の場になるとも考えられ、現在失われつつある地域の連携や活性化も図られると考えます。

また、(仮称)子育て総合支援センターなどにおいて育成される子育て支援者をはじめ、保育士、保健師などの専門職やさまざまな子育て支援者がサロンの活動を支えます。



2 計画の進捗状況の把握と評価

本計画を推進するためには、計画の実施状況を常に把握し、またその結果についての評価を継続的に行うことが必要となります。

そこで、本計画の推進にあたっては、行政内部での検討に加え、市民の代表で構成する「千歳市保健福祉調査研究委員会」において進捗状況の評価を行い、その結果を委員会のホームページなどを通じて市民に公表します。

また、国・北海道の動向や市民の要望なども踏まえ、子育てを取り巻く社会的状況の変化にも柔軟に対応しながら進めていきます。

3 財政基盤の確立

本計画を推進するためには、それを支える財政基盤の確立が重要となります。

そこで、本計画の推進にあたっては、その費用対効果を十分に見極め、財源の配分と組織の運営を最も効率的・効果的に行っていくよう努めます。

